

旧赤松家だより

令和元年 12 月 11 日



庭園では、寒椿があちらこちらでピンク色の花を咲かせています。

令和元年もあとわずかとなり何かと多忙な日々かと思いますが、一息つきに旧赤松家記念館にいらっしやいませんか。庭園散策だけでなく、県や市の指定文化財である門や蔵、貴重な展示物をお楽しみいただけます。

記念館の和室には、昭和天皇大饗第 2 日夜宴の出席者に贈られたボンボニエールが展示されています。

昭和 3 年 11 月 10 日、京都御所において昭和天皇が即位され、16 日、17 日と 3 回にわたり催された「大饗の儀」の時のものです。

釣灯籠形で、大きさは縦横各 5.4 cm、高さ 4.7 cm、純銀製です。

ボンボニエールは、金平糖などの菓子を入れる容器で、皇室には明治以降、慶事の祝宴などの出席者に贈る習わしがあります。

今年 10 月に催された新天皇の「饗宴の儀」のボンボニエールは、直径 6 cm、高さは 3 cm あまりで菊の御紋と鳳凰の模様があしらわれているそうです。



内蔵ギャラリーでは、11 日から旧赤松家記念館による『明治の絵双紙(双六)』展を開催しています。絵柄から当時の世相を感じ取ることができます。ぜひご覧ください。また、昔なつかしいメンコも展示しています。手に取って遊んでみてはいかがでしょうか。

内蔵ギャラリーのご案内

『明治の絵双紙(双六)』展

開催期間：12 月 11 日(水)～12 月 24 日(火)

* 休館日 12 月 16 日(月)、23 日(月)

開催時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

(最終日は午後 3 時まで)

入 場 料：無 料

出 展 者：旧赤松家記念館

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より